

鳴滝小学校学校だより キャッチボール

<http://www.wakayama-wky.ed.jp/narutaki/>

令和6（2024）年 12月号 TEL073-453-2315



えっ！？ もう12月！？

早いですね。夏から始まった2学期ですが、もう最後の12月になりました。冬到来です。つい最近まで「暑い、暑い」と熱中症に注意しながら、暑さ指数とにらめっこしていたのが嘘のようです。外国の方々は、日本のよいところの一つに「四季がはっきりしているところです。」と挙げてくれますが、最近はかなり夏が長く感じる（約半年間、半袖生活でした）と共に、気温の高さに参っているのは私だけでしょうか。実は私、冬の寒さが苦手です。が、身体的には夏の方が大変で倒れることもあり、今年は何度点滴を打ちに行ったかわからないくらいです。皆様は大丈夫でしたか。

また、毎年、気温が高くなっているように感じます。今年の夏も尋常な暑さではありませんでした。和歌山市では真夏日（最高気温が30度以上の日）は連続で89日もあったそうです。過去最高だと聞きました。連続ではない真夏日もありましたし、真夏日の中には、「猛暑日（最高気温が35度以上の日）」も含まれています。残暑も厳しかったので、教室にエアコンが完備されていて、本当に良かったと思います。

子供たちは夏の暑さにも負けずに元気いっぱいでした。冬も寒さに負けず、元気いっぱいに過ごしてくれることだと思います。

一人一人の成長を願って！！

私が小学生時代の通知表の担任の言葉の欄には「消極的である」「積極的でない」という言葉が毎回書かれていました。その頃は相対評価でした。

・「相対評価」は各評価ランクの人数が決められ、成績上位者から順番に決定していくという評価の仕方です。だから、「すごく頑張った」と自分では思っている、なかなか評価につながりにくいです。

・「絶対評価」は、評価の基準があり、個人の学習到達度によって評価します。だから、個人の頑張りが評価につながります。2002年から「絶対評価」に変わりました。

子供の頃の私はかなり消極的でした。実は現在も内向型の性格は変わっていませんし、大人になってからの勉強も楽しいのですが、苦手意識からの脱出はなかなか難しいです。

だからこそ、保護者の方々の見守りがある今、子供たちに経験を積んでほしいと思います。例えば、忘れ物をしないことが一番ですが、人ですから忘れることもあります。忘れたことだけを伝え、あとは指示を待つ、のではなく、『どうしたい』まで考えて行動することが大切です。人は間違ったり失敗したりすることを恐れます。そうならないようにと保護者の方々が先回りしてしまうと、子供たちのもっている力を生かしたり、伸ばしたりすることができなくなってしまいます。これも『思考・判断・表現等』ではないでしょうか。そして、本校が考えている「生きる力」でもあります。すぐに評価と結びつかなくても、いずれ様々な評価につながることは必然です。保護者の方々と共に、子供たち一人一人の成長を願って取り組んでいきたいと思っています。



校長 藪本みゆき

(12月の主な予定)

日	曜	行 事	日	曜	行 事
2	月	スクールカウンセラー来校日	12	木	ファミリー読書
4	水	有功ブロック人権研修 いじめなくそうデー	16	月	スクールカウンセラー来校日
5	木	語りの森 ファミリー体力づくり	19	木	ファミリー読書
7	土	子どもセンター「バドミントン教室」	23	月	ALT 来校 給食終了 移動図書
9	月	移動図書	24	火	終業式

(1月の予定) *6日(月) 3学期始業式 *7日(火) 給食開始・身体測定

*6日・20日(月) 移動図書館 *25日(土) 子どもセンター「ドッジボール教室」

ありがとう集会 11月16日(土)

(1・2年)



(3・4年)



(5・6年)



(パンの販売)



地域の皆様、いつも子供たちを温かく見守っていただきありがとうございます。
います。